愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習III		
担当者(Instructors)	水野 伸子	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

各自の研究テーマに沿って研究を遂行することにより、将来、社会人として求められる論理的な思考力、文章力を身につける。研究に関連する文献を読んで理解し、研究の進め方を学びながら、実験・調査・観察等を行いその結果を分析し考察する。その成果をまとめ、論文執筆を進める。提出された課題は添削しコメントをつけて返し、授業での授業者による講評及び学生間の意見交流等を経て課題の理解を深める。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。各自が研究を進めるなかで、課題に対しディスカッションやグループワークを用い、必要に応じてフィールドワークを行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	研究テーマの決定	各自の研究テーマを決定し、研究の結論の方向性、仮説等をゼミ内で交流する。	□
第2回	論文構成の図式化	論文構成を図式化して整理する。	□
第3回	研究テーマに沿った先行文献検索	各自の研究テーマに沿って先行文献を調べる。	□
第4回	文献データの整理	集めた文献の位置付けをし、データを整理してまとめる。	□
第5回	先行研究のレビュー	先行研究のレビューに関する第1章を執筆する。	□
第6回	先行文献からわかったことと課題の整理	第1章を推敲し、わかったことと残された課題とに整理してまとめる。	□
第7回	調査方法の決定	調査対象・調査の手続きなど具体的に調査方法を決定する。	□
第8回	倫理的配慮の理解	倫理的配慮について学ぶ。	□
第9回	文献調査、および観察調査	各自の研究方法に沿った調査・実験方法に従って進める（文献調査、観察調査）。	□
第10回	結果の整理の仕方 結果結果を記述する	文献資料の収集結果、観察調査の結果の整理の仕方を学ぶ。	□
第11回	結果の整理	調査結果の整理をする。	□
第12回	結果結果を記述する	調査結果を記述する。	□
第13回	研究経過のまとめ	研究経過をまとめる。	□
第14回	発表資料の作成	発表資料を作成する。	□
第15回	ゼミ内、中間発表交流会	ゼミ内、中間発表交流会を行う。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習として、研究目的に沿った先行文献を読み、項目ごとに要約する（2時間程度）。 事後学習として、授業で明らかになった課題を解決するために先行文献を読んだり、文章を推敲したりする（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出された課題は、考察するための材料を示したり文章を添削したりして返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	研究目的に沿った方法を考え、先行文献から他者の主張を理解し、自分の考えを修正したり深めたりして記述することができる。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	他者の主張を批判的に読み、偏ることなくバランスを保ちながら論じ記述することができる

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

その他：課題レポート

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	個別に指示をする	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		